

人権センター 図書だより



Vol.24 令和 3年 11月 1日発行

発行：人権センター

TEL.354-8609 FAX.354-8611

http://www.city.yokkaichi.lg.jp/

jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

『じんけんフェスタ 2021』

1948（昭和23）年12月10日、国際連合総会で、『世界人権宣言』が採択されました。そして、1949（昭和24）年に、毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）が「人権週間」と定められたことを受け、全国各地で啓発活動が行われます。

本市においても下記の通り『じんけんフェスタ 2021』を開催します。

11/28(日) 四日市市文化会館 第1ホール

映画「カノン」

比嘉 愛未 ミムラ 佐々木 希

桐山 漣 長谷川朝晴 古村比呂 島田陽子 多岐川裕美
鈴木保奈美

監督：雑賀 俊朗 脚本：登坂 恵里香



©2016「カノン」製作委員会

午前の部：10時～12時30分（9時30分開場）

午後の部：13時30分～15時45分（13時開場）

各回定員500人(事前申込制)・入場無料・手話通訳・要約筆記・字幕あり

詳細はHP、広報よっかいち等をご覧ください。

じんけんフェスタ 2021



新型コロナウイルス感染症の情勢により、中止の場合は市ホームページ等でお知らせします。

<作品紹介>

死んだはずの母が生きていた。あの頃とはすっかり変わり果てた姿で……。三姉妹は祖母が遺した手紙を手がかりに、真実を探し求める旅に出る――。

19年前、なぜ母はわたしたちの前から姿を消したのか？

なぜ約束を守ってくれなかったのか？

母へのわだかまりを抱えたまま大人になり、それぞれ別の街で恋や家庭、仕事に奮闘する三姉妹。彼女たちがともに母の過去を辿り、自分たちの傷に向き合い、未来への一步を踏み出そうとする時、ある懐かしいメロディーが流れ出す。

心温まる音楽と旅情にのせて、今を生きる女性たちの愛と葛藤を描いた珠玉の映画が誕生した。

「カノン」公式ホームページから引用

映画「カノン」に寄せて

「アルコール依存症」について ～私たちが知っておきたいこと～

「カノン」の世界が伝えようとしていること

泊ファミリークリニック 副院長

いのあろう 猪野 亜朗 さんからのビデオメッセージを放映します。



～いのあろう 猪野 亜朗さん寄稿文からの抜粋～

コロナ禍でストレスが増える中、飲食店等での外飲みの誘惑が減る一方、テレビの飲酒の場面やCMが無制限の家飲みを促進していると感じます。

このような中での映画「カノン」の上映は飲酒問題を考える絶好の機会と考えます。

映画カノンはアルコール依存症の母親を中心に展開されます。

アルコール依存症は特別な人になる病気ではありません。エチルアルコールを効率よく分解する遺伝子を持って生まれ、ストレスを飲酒で紛らわす習慣を身につけてしまい、飲める環境に いれば誰でもアルコール依存症になり得ます。

社会では、「意思が弱い」「家族の事を考えない」「モラルがない」などと間違った差別的な 偏見がありますが、正しくは「アルコール依存症は アルコールという薬物によって脳が傷ついた 病気」です。

とてもその被害は深刻になる事があり、次の世代にも影響します。



©2016「カノン」製作委員会



「お役所による依存症啓発マンガなのに、夢中で読んで泣いてしまう。～能町 みね子～」

『だらしのない夫じゃなくて 依存症でした』 (F-221 三森 みさ 著 時事通信社)



あなたが病気だと知ってよかった。だって、私たちは家族だから。WEB で話題沸騰！

あの依存症啓発漫画が待望の書籍化！

アルコール依存症の夫と、その妻。苦悩と葛藤の日々、回復への道のりをすべて描いた感動の長編コミック。

アルコール、薬物、ギャンブル、依存症は誰もが経験する病気であり、そして回復できる病気です。もしも大切な人が依存症になったら、あなたはどんな言葉をかけますか？この本を読んだあなたと、あるいはその周りの人にとって、心の穴を埋める場所を見つけるキッカケになることができたなら、こんな幸せなことはありません。

「この漫画は依存症全般に関する知識を普及する目的で制作しています。アルコール文化の摂取・文化を否定する意図、違法薬物の摂取を肯定する意図はありません。

また、この物語の登場人物は全て架空の人物ですが、依存症者・関係者の方の実体験談・見聞を参考に創作しております。漫画内に記載されている症状はあくまで症状の一部です。個人によっては当てはまらない場合がございます。」〈あとがきより引用〉

 **新着図書** 7月、9月～10月

★漫画作品

入荷月	書名	著者等	出版社等	分類番号
7	マンガでわかる！統合失調症 ★	(著) 中村ユキ (監修) 当事者のみなさん・福田正人	日本評論社	F 2 2 3
7	マンガでわかる！統合失調症 (家族の対応編) ★	(マンガ・構成) 中村ユキ (原案・監修) 高森信子	日本評論社	F 2 2 4
7	心病む母が遺してくれたもの (精神科医の回復への道のり)	夏苺郁子	日本評論社	F 2 2 5
7	精神科医の「7つの不思議」(病院で聞けない話、診察室では見えない姿)	夏苺郁子	ライフサイエンス出版	F 2 2 6
9	戦争は女の顔をしていない 1 ★	(作画) 小梅けいと (原作) スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ (監修) 速水螺旋人	KADOKAWA	J-5 254
9	戦争は女の顔をしていない 2 ★	(作画) 小梅けいと (原作) スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ (監修) 速水螺旋人	KADOKAWA	J-5 255
10	はかれないものをはかる	工藤あゆみ	青幻舎	J-5 256
10	もうだまされない 新型コロナの大誤解	西村秀一	幻冬舎	J-1 136
10	(新版)老人の取扱説明書	平松類	SBクリエイティブ	H 54
10	伴走型支援 新しい支援と社会のカタチ	奥田知志・原田正樹	有斐閣	J-4 9
10	曠野の花	木曾ひかる	新日本出版	J-4 10

図書・DVDの貸出について

本数	1回につき5冊(本)まで
期間	貸出及び返却日を含め15日以内
申込方法	直接人権センターへお越しいただくか、電話にてお申込みください。 電話：(059) 354-8609 (内線：3266, 3267)
送付方法	直接人権センターへお越しいただくか、お近くの地区市民センターでお受け取りください。 (ご自宅等への郵送は行っていません)

通郵便で送る事が出来ます。